

## 都島中学校職業体験で山仕事！ ～箕面国有林「オオクワガタの棲める森」～

大阪市北区天満橋1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

むことができませんでしたが、作業にも次第に馴れて手際よくなってきたころには終了しました。

これまで知ることのなかった二ホンジカ被害の実態や森を育てるということなどを学んでもらえたことと思います。自然の中での仕事もある森林管理局のような職場を目指してくれるかは分かりませんが、少しでもこの体験が少年たちの未来に活かされることを願っています。

二日目の午前中は、森林整備課の指導で森の管理に必要な図面作成、午後から毛馬桜之宮公園内で樹木観察。午後の残りの時間で「水源の森ジオラマづくり」を体験していただきました。

「水源の森ジオラマづくり」は森林環境教育として、森林の有している機能のうち、水源かん養機能について理解を深めてもらうため試行的に取り組んでいる題材です。

最初に、パネルを使って水の循環や保水機能、保安林の説明をし、次に「水源の森ジオラマ」工作を行います。工作の材料は極力自然の素材を使うようにしており、ミニ樹木はイタドリの花穂、地面はケヤキの皮など自然の素材を活かした工作が特徴です。

作業中は口数も少なく、黙々と手順に沿ってジオラマを作製し、完成した作品を見る目は満足そうでした。

作品づくりを通じて、森林の大切さや機能について少しでも理解して頂いたと感じています。

二日間という短い期間でしたが、森林管理局の業務の一部を体験

して頂き、「森林」を身近なものとして感じてもらうことと思います。



**【総務企画部 総務課】** 11月7日（木）～8日（金）にかけて、大阪市立都島中学二年生3名が当森林管理局に職業体験に来てくれました。1日目は、箕面森林ふれあい推進センターの指導により箕面国有林内にある「オオクワガタの棲める森づくり」での森林整備作業を体験してもらいました。

当日は、あいにく雨が降ったりやんだりの天気でしたが、生徒達は、クヌギのポット苗（4～5年生の大苗）を各自1本ずつ持って、藪の中に踏み込んでいき、持ってきた苗を植えるスペースを作るため、下刈り鎌で1m四方を刈り払い、無事苗木を植える事が出来ました。

午後からは、防鹿柵の見回りと補修です。植栽地への二ホンジカの侵入を防ぐために設置しているネットを見回り、壊れた箇所や侵入した箇所がないかの点検です。点検を始めてしばらくすると、イノシシに持ち上げられて穴があき、二ホンジカが入り込んだ跡などがありました。すぐにネットのすそにペグ（プラスチック製のネットを止める杭）を打ち込んで、ネットの穴をふさいで修理しました。最初は慣れない仕事でうまくペグを打ち込

## 平成25年度 国有林野等所在 市町村長連絡協議会を開催

**【企画調整課】** 近畿中国森林管理局では、7月24日から11月13日までの間、各府県において国有林野等所在市町村長有志協議会を開催し、各地域における森林・林業政策や国有林への意見・要望等について意見交換を行ってきました。

その締めくくりとして、11月19日（火）に管内14府県の代表市町村長等の参加のもと「平成25年度 国有林野等所在市町村長連絡協議会」を当森林管理局会議室において開催しました。



冒頭、本協議会の会長である岡山県新見市長から、「森林・林業の再生、地域振興をはじめとする各般の政策実現のため、一般会計のもとで新たなスタートを切った国有林に、これまで以上に地域林業を牽引する役割を担っていただくことを願います。」などの挨拶を頂きました。

会議では、これまで各府県で取り組んできた民国連携による森林共同施業団地の一層の充実や皆伐事業における架線集材の必要性等、地域の実情を踏まえたご意見やご要望をいただきました。



また、当日は、NPO 法人 土佐の森・救援隊の中嶋理事長を招き、山村経営の持続可能性などの観点から普及を推進されている「自伐林業」について講演いただきました。中山間地域再生のカギとなる自伐林業の取組みは、シンプルで低投資な施業で、かつ雇用の創出が期待できるということで、参加した市長等も関心を持って聞いていただきました。

また、森林経営計画の作成要件や森林整備に係る補助金の見直し等について、現場からの貴重な意見・要望をお聞きすることができました。

今後も当森林管理局では、頂いたご意見等を国有林野事業の運営に適切に反映させるよう努めてまいります。

## 「金剛山の森を楽しむ 癒しウォーキング」を開催

**【奈良森林管理事務所】** 11月3日（日）、金剛山国有林周辺において、奈良森林管理事務所と大阪森林インストラクター会の共催により、より多くの人に自然の魅力と森林への理解を深めてもらうことを目指して、「金剛山の森を楽しむ癒しウォーキング」を開催しました。

当日の集合時は、あいにくの雨でしたが、金剛山ロープウェイで山上に到着した頃には雨は上がり、幻想的な霧の世界が目の前に広がっていました。

まず、山上駅に降り立つと、一つ目のプログラム「森の色合わせ」を行いました。

こうなんそう香楠荘の隣にある四阿<sup>あすまや</sup>まで、指定された色に見合った落ち葉や木の実などを拾い、どんな色が見つかったか、集まってみんなで色分けをしました。



続いてダイヤモンドトレイルコースを歩きながら、途中でクイズや糸電話を使った伝言ゲーム、ちょっとした体操などを行い、晩秋の金剛山を満喫しました。

国有林付近では、奈良森林管理事務所の取組や森林の働き、金剛山国有林の概要を説明し、森林が持っている多面的な機能の重要性について理解を深めて頂きました。

特筆すべきは、お母さんと参加していた最年少（参加者の平均年齢は約50才）の7才の男の子が、野鳥の鳴き声を聞いては「この鳥は〇〇」、落ち葉を拾っては「この葉っぱは〇〇の木」と、楽しそうに歩いていたことで、



将来は優秀な森林インストラクターになるかもしれません。

帰りは、参加された皆さん、楽しそうに会話を弾ませて帰宅の途につかれました。

## 不法投棄は許しません！ 池谷国有林でクリーン作戦を展開

【鳥取森林管理署】 10月30日（水）、倉吉市関金町耳にある池谷国有林内において本年度林道改良工事で発見された大量のゴミを「クリーン作戦」と銘打ち回収作戦を展開しました。水源かん養機能を有する森林への不法投棄を解消するため、当日は倉吉市や地元自治会関係者など総勢26名の参加となりました。

林道から大量に投げ捨てられていた空き缶、古着、タイヤ、家庭ゴミなど総重量は約1トンになり、参加者が分別してトラックで市の処分場やリサイクルセンターへ運搬を行いました。



途中、NHK 報道記者の取材を署長が受ける場面も見られました。

地元自治会の参加者からは「近くの川の上流にこんなにたくさんのゴミがあるとは思いませんでした。怒りを乗り越えて悲しい気持ちで一杯です。地元としても今後パトロールを強化して行きたい。」等、意見や感想が聞かれました。

今後も地域と連携した活動により、国有林はもとより地域全体としてゴミを捨てにくい環境づくりに貢献していきます。



## 森林・林業の担い手を目指して ～山崎高校森林環境科の生徒が現場見学実習～

【兵庫森林管理署】 11月12日（月）～13日（火）にかけて、兵庫県立山崎高校森林環境科学科の1年生33名と2年生36名が、国有林の現地見学・実習を行いました。

山崎高校では、森林環境を守り、森林を育て、保護していくための基礎的・基本的な知識と技術及び森林を総合的に利用する能力と態度を身に付け、「森林に携わる幅広い担い手の育成」を目標とし、現場見学実習等の体験学習を重視し、地域社会、関連機関等と連携した教育を推進しています。

12日は2年生を対象に、鍋ヶ谷国有林での植付実習と素材生産事業を見学しました。

植付実習は、ヒノキの苗木100本を慣れない手

つきながらも一生懸命に植え付けしました。

午後からは、搬出間伐を行っている請負事業体の作業を見学し、伐倒作業と高性能林業機械を使用した木材の集造材作業を見学しました。

13日は1年生を対象に、音水国有林のスギ・ヒノキ林木遺伝資源保存林や緑の回廊、治山事業施工地を見学しました。

250年生の林木遺伝資源保存林の<sup>※</sup>倒木更新したヒノキの大木の前では、貴重な天然林資源を見上げ、その大きさに歓声が上がっていました。

現場見学実習のまとめとして、当署からは、「実習や色々な体験等を通じて技術・知識を習得し、社会から必要とされる立派な人になって下さい。また、将来の国有林マンになれるよう挑戦して下さい」としめくくり、2日間を通し、職員の指導のもと真剣に取り組み、森林環境の大切さや林業の重要性等を肌で実感し、有意義な見学実習となりました。



※伐木更新：寿命や天災、伐採などによって倒れた古木を礎にして、新たな世代の木が育つこと。

## 第26回「田辺農林水産業まつり」

**【和歌山森林管理署】** 11月10日(日)、和歌山県田辺市の扇ヶ浜交流広場カッパークで「田辺農林水産業まつり」が開催され、雨天にもかかわらず約1万2千人の参加者がありました。

開会前から降り出した雨のため、出展者の方が手塩にかけた農産物や木工品等の数々が雨に濡れる心配をしていますが、開会后1時間後にはなんとか雨も上がりました。



当署からは、職員8人及びOB4人の協力のもと、蔓籠編み、丸太切り、木工クラフト等のコーナーを設け、親子連れや友達同士などの市民の方々が多数訪れ、閉会の時間が過ぎても賑わっていました。



丸太切り体験した小学生は、「初めての体験だったけど、※ホームラン賞と聞いて、びっくりした、景品がもらえてうれしかった」と笑顔で答えていました。

この「田辺農林水産業まつり」の開催を通じて、田辺市近郊の皆様が森林・林業に関心を持っていただき、当署のPRも含めて理解を深めてもらうことができました。

この「田辺農林水産業まつり」の開催を通じて、田辺市近郊の皆様が森林・林業に関心を持っていただき、当署のPRも含めて理解を深めてもらうことができました。

## 海岸林復興現地検討会に参加して

**【石川森林管理署】** 10月31日(木)～11月1日(金)の2日間、あたかばやし安宅林国有林、加賀海岸国有林、かほく市及び内灘町の民有林の海岸林において、(独)森林総合研究所及び石川県農林総合研究センター林業試験場主催による海岸林復興現地検討会が開催されました。

これは、両者が共同で、東日本大震災に伴い被災した海岸林の復興に向け、海岸林造成の効率化技術の開発(クロマツを基準より低密度に植栽するための調査)をこれら海岸林において実施していることから、その実施結果について専門家を交えて意見交換するため開催されたものです。

当日は、(独)森林総合研究所気象環境研究領域室坂本室長をはじめ海岸林造成や松くい虫対策等に関する国内トップクラスの研究者等が19名参加されました。

当署からは署長外6名が参加し、国有林での海岸林造成の取組みを説明しました。



当署職員にとって、海岸林造成や松くい虫対策の最新情報に触れたり、民有林での海岸林造成の最前線の現場を視察したりすることなどを通じ、改めて石川県の海岸林造成の一役を担っている国有林の役割について実感する機会となりました。

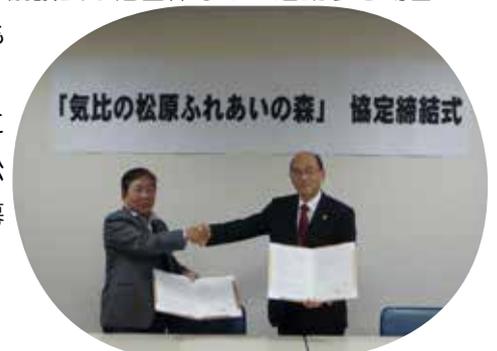


## 「気比の松原ふれあいの森」協定締結

**【福井森林管理署】** 日本三大松原の一つである名勝「気比の松原」(福井県敦賀市)を守ろうと、市民団体などをつくる気比の松原100年構想推進連絡協議会会長と福井森林管理署長が10月31日「気比の松原ふれあいの森」協定締結式を敦賀市福祉総合センターにおいて調印しました。

気比の松原は名勝や国定公園に指定されている国有林で各種法令の規制があり、松葉かきなどの活動には国や県との事前手続きが必要となっています。今回の、ふれあいの森協定を締結することにより、こうした手続きが軽減されるほか、協議会は他団体などが活動する場合の手続きの窓口にもなります。

11月30日には協議会主催の松葉かきを一般公募で行いました。



## 杉玉を作製 ～日本一の杉玉を見学～

【山口森林管理事務所】 11月29日（金）、山口県酒造組合の女性グループ「山口和らぎ会」が県内の酒造場関係者を対象に2005年から行っている杉玉作り講習会に、山口森林管理事務所から4名が参加して製作しました。杉玉とは、杉の葉を束ねて球状に刈り込んで作る杉の玉のことで、蔵元が新酒の出来上がりを示す目印となっています。

元々は、酒の神様で有名な奈良県のおおみわ大神神社のご神体である三輪山の杉にあやかり、杜氏らが酒の神様に感謝の気持ちを表すために作られるものです。

また、11月12日には、近畿中国森林管理局総務企画部長が岩国市の城山国有林の近くにある酒造株式会社を来訪し、同社が新酒の出来上りを知らせるために製作した日本一の杉玉（直径5m）も見学してきました。



## 花草木

今月はモミの木です！

この時期、街角からご自宅にまで様々なところで目にするでしょう『モミの木』。

日本国内でも自生していて、北端は秋田県から南端は屋久島にまで達します。

東京近郊の高尾山ではモミの密生する箇所もあり、大木が見れるそうです。

花言葉は、「時間」や「永遠」。

冬の季節でも緑を保ち、力強さを感じますね。

誕生樹では12月24日になっているようです。

まさに、「クリスマス」感たっぷりなモミの木でした。

## お知らせ

### 「森とのふれあいスタンプラリー」開催中！！

奈良森林管理事務所では、レクリエーションの森に指定した国有林を巡るスタンプラリーを実施しています。

本スタンプラリーは、国民の皆様が森林に親しみを感じ、災害の防止や生物多様性の保全、レクリエーション機能など森林の役割を知っていただくとともに、奈良県内のふるさと製品の紹介や地域の交通機関を利用していただくことにより県内の地域振興等を図ることを目的としています。

スタンプを集め応募すると、ふるさと製品の抽選に参加できますので、ぜひとも皆様のご参加をお待ちしております。

開催期間：～平成26年2月14日まで

設置場所：奈良県内6箇所のレクリエーションの森及びその周辺

詳しくは、奈良森林管理事務所ホームページ内  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/information/h240928sutanpurari.html>

## 森林のギャラリー(局庁舎1階)

### 【12月の展示スケジュール】

テーマ：近畿中国森林管理局の取り組み紹介

12/2～12/28 近畿中国森林管理局による企画展示

～山口森林管理事務所作製の杉玉も展示中！～

【近畿中国森林管理局】

12/2～12/28 「木炭・木炭コンロの普及」《展示BOX》

【近畿中国森林管理局 技術普及課】(協力:全国燃料協会)

# シリーズ 保護林 第7回

近畿中国森林管理局の保護林

かもやま

## 加茂山モミ・ツガ植物群落保護林 [旭川森林計画区]

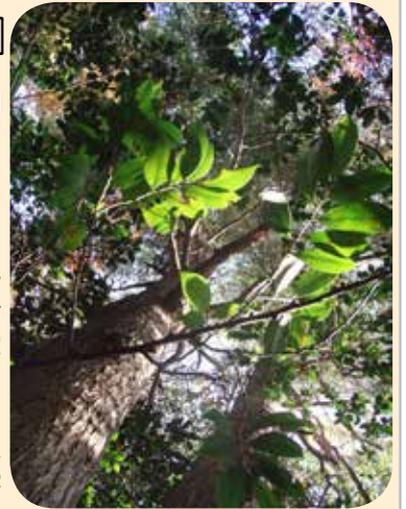


モミ

加茂山モミ・ツガ植物群落保護林は、岡山県岡山市に位置する加茂山国有林にあります。岡山県南部の貴重な植生を保護することを目的とし、モミ、ツガ、トチノキを保護の対象としています。

この保護林の面積は17.63haで、水源かん養保安林、史跡名勝天然記念物、吉備清流県立自然公園、鳥獣保護区などにも指定されています。

保護林周辺には<sup>うかんけい</sup>宇甘溪自然公園やキャンプ場があり、初夏はゲンジボタル、秋は紅葉が楽しめる観光地として、多くの観光客が訪れています。



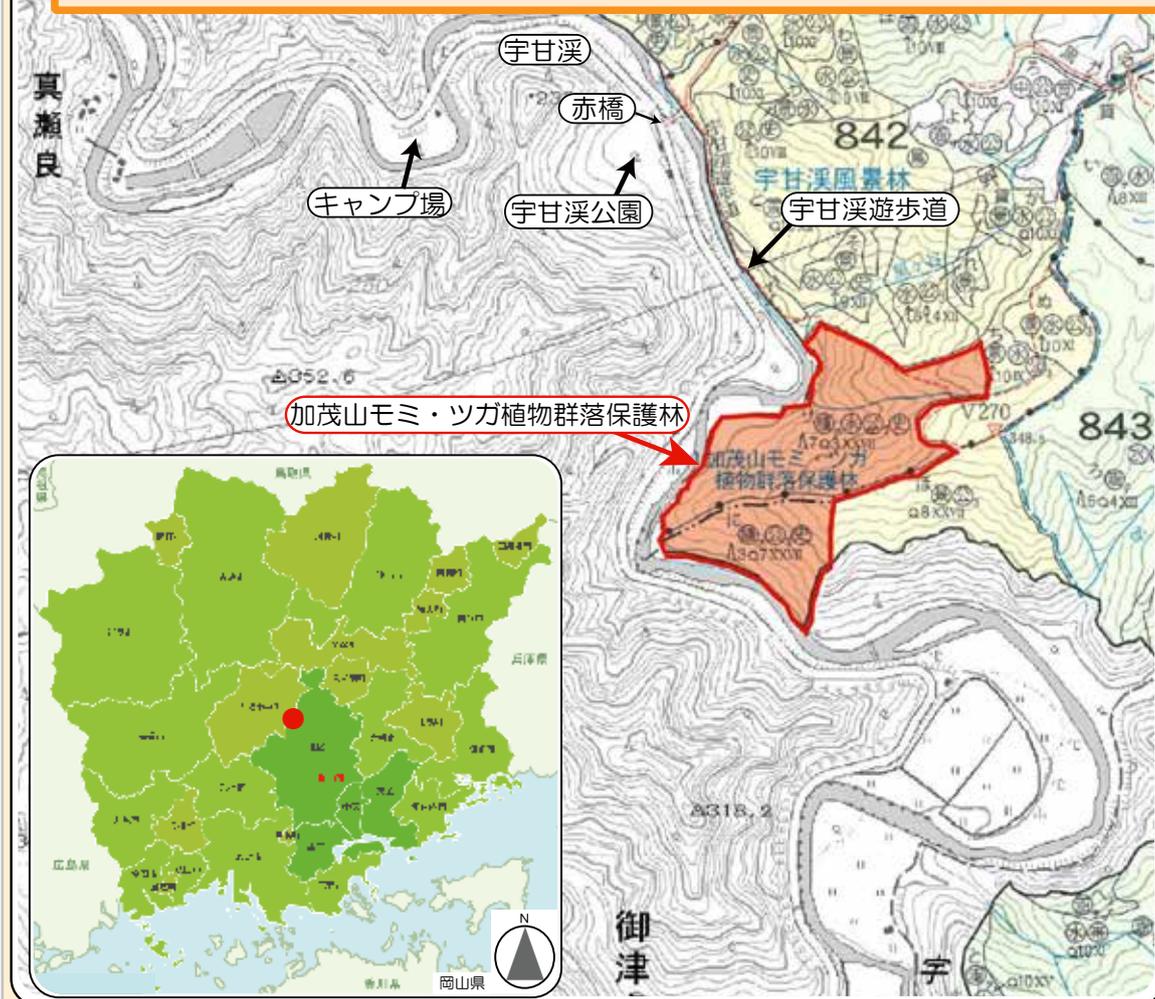
ツガ

### 【加茂山モミ・ツガ植物群落保護林に生息・生育する動植物】

- ◎ 植物：モミ、ツガ、アラカシ、コナラ、イロハモミジ、コハウチワカエデ、リョウウブ、ヤブツバキ、サカキ、アワブキ、アセビ、カラスザンショウ、アオキ、テイカカズラ、ジャノヒゲ、マメヅタ、ミヤマウズラなど
- ◎ 動物：ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、キツネ、タヌキ、アナグマ、ゲンジボタル、オヤニラミなど

### 【加茂山モミ・ツガ植物群落保護林へのアクセス】

◎ 宇甘溪公園から・・・公園駐車場より赤橋を渡って宇甘溪遊歩道からアプローチ



保護林及び国有林内での注意事項

- ★ 国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
- ★ 国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★ 自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★ 林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。